松本市工業ビジョン　令和３年度　活動指標に対する評価検証（内部評価）

評価	A	B	C	D
評価基準	目標以上	目標並	目標にやや劣る	目標に劣る

評価点　A:4点、B:3点、C:2点、D:1点 平均点　2.5点	3.05点

業務	担当			◎成果指標　／　●活動指標	Ｒ３年度実績（内容）	目標値		H30年度実績（数値）	R元年度実績（数値）	R2年度実績（数値）	R3年度実績（数値）	内部評価	評価のコメント・備考
	ICT担当係長	ICT担当ＣＤ	凸版印刷			R4年	R9年						
統括													
全体調整	主											B	
コーディネート業務事業者との契約、調整	主				凸版印刷㈱とのコーディネート支援業務委託（４年目）の契約締結。							B	
テレワークオフィスに関する塩尻市との調整	主							打合せ３回	打合せ２回	打合せ１回	打合せ１回	B	和田オフィスは塩尻市振興公社に貸与し運営をしていたが、R3年1月をもって休止。
テレワークオフィス業務受発注システムの構築、企業からの業務受注	統括	副	主	◎ICT拠点施設のテレワーク業務受注額	センター・凸版印刷㈱が連携しながら都市部企業からの業務受注、地元企業への周知広報、営業活動を実施。	1,500万円／年	3,000万円／年	1.1万円	275万円	1,629万円	2,094万円	A	令和3年度の目標値は1,200万円。
テレワーカーの募集、登録、契約、発注	統括	副	主	●ICT拠点テレワーカー登録件数	サザンガクテレワークオフィスのの業務に従事するテレワーカーを継続的に募集、登録。	150人	300人	約30人（登録者数）	64人	91人	103人	C	令和3年度の目標値は120人。 うち、アクティブなワーカーは２０～３０人。
テレワークオフィスの管理運営	統括	副	主	●テレワーカー収入額	平日9～17時の稼働。コーディネーターにおいては、テレワークオフィスの機器、ネットワーク管理を実施。	1,200万円／年	2,400万円／年	548万円	983万円	1,010万円	1,073万円	A	令和3年度の目標値は900万円。 R2年度は和田オフィスとの合計、R3年度はサザンガク単体での支払額。
地元中小企業をメインターゲットとするバックオフィスセンター機能の立ち上げ、運用	統括	主		◎バックオフィスセンター活用事業所数	センターと凸版印刷㈱が連携しながら都市部企業からの業務受注、地元企業への周知広報、営業活動を実施。	15事業所	30事業所	テスト業務１事業所	６事業所	８事業所	５事業所	D	令和3年度の目標値は12事業所。
NTT大名町ビル契約関係	主				20年間の定期建物賃貸借契約の３年目。								
サザンガク管理運営に関すること	主	副			コワーキング（平日10～19時）、テレワーク（平日9～17時）、サテライト（24H365日）営業に伴う管理運営。							B	コワーキングの利用者数、サテライトの入居企業数、テレワークの受注額いずれもこれまでのところ数値的には順調に伸びている。
サテライトオフィス誘致に向けたプロモーションの展開	主	副		●ICT拠点施設のサテライトオフィスへの入居企業数	12月末時点で全１６区画に入居済み。	15社	15社	入居申込10件	13社（個人）入居	15社（個人）入居	16社（個人）入居	A	No1～7、16：複数人数区画、No8～１５：個人ブース区画
令和４年度以降の事業計画立案、事業費の積算（全体）	主											B	
ICT人材育成プラットフォーム運営に関すること	主							1回開催	２回開催	1回開催	2回開催	B	令和3年度は5月、11月に開催
事業運営費に係る市との調整 （実施計画、予算、政策戦略会議など）	主											B	
その他、ＣＤが担当する事務全般の監督・統括	主											B	
ICT支援													
中小企業社員のICTスキル向上のための研修会の実施		主		●ICTの活用方法に関するセミナーの開催回数	参加者数の制限、オンライン開催など、新型コロナウイルス感染症の状況に合わせた支援を行った。	10回	20回	計4回開催	計4回開催	計７回開催	計5回開催	C	令和3年度の目標値は計6回開催。 ４月：YouTube運用セミナー　5月：マーケティングセミナー、SNS講座 12月：IT人材イベント　　3月：プレゼン資料作成セミナー 上記の他に関東経済産業局との連携による研修「データ活用ブートキャンプ」を共催し、市内企業の支援を行った。
				●経営者向けセミナーの開催回数		10回	20回						
				●情報提供に係るセミナーの開催回数		10回	20回						
中小企業ニーズ把握への参画（企業訪問・相談対応・情報発信等）		主		●ICTの導入・活用に向けた個社別の支援件数	59件（CD：46件、凸版：13件）	300件	600件	延べ78社 ※ 全体	延べ185社 ※ 全体	延べ119社 ※ 全体	延べ59社 ※ 全体	B	具体的な成果につながった件数　42件
小・中学生を対象としたICT教育		主		●子ども（小中学生）を対象としたICT教育の開催回数	プログラミング体験教室を開催	10回	20回	３回開催	４回開催	４回開催	2回開催	B	
事業全般に関するコンサルティング		主			IT機器、ネットワーク、システム管理、通信・機器障害対応、施設運営に関する幅広いコンサルティングを実施した。							B	「データ活用ブートキャンプ事業」のフォローアップ、zoomをはじめとするオンラインツールの活用方法等を支援。
ICT活用地域産業振興コーディネート業務													
事業発現、起業・スタートアップにつながるイベントの開催（コミュニティマネジメント）			主	●ICT拠点施設のコワーキングスペースイベント実施数	様々な切り口で街に対する課題やアイデアを出し合える場を設けることで、新たな事業やプロジェクトにつながるきっかけを提供した。	10回	20回	1回開催	3回開催	３回開催	6回開催	A	令和3年度の目標値は2回開催。 7月：交通ワークショップ　　9月：若手社会人によるトークセッション 12月：交通ワークショップ、地域医療ワークショップ 1月：イノベーションに繋がる出会いを生み出すためのワークショップ 2月：中小企業向がイノベーションを起こすために必要なこと（パネル）
コワーキングスペースの賑わいの創出（コミュニティマネジメント）			主	●コワーキングスペースの会員数	会員数は移住者等も巻き込みながら順調に増加。オンラインのランチ会を開催するなどコロナ禍でもコミュニケーション促進を図った。	15人	30人	－	累計１人	累計13人	累計23人	A	令和3年度の目標値は累計12人。 令和4年3月現在の利用中のメンバーは9人、うち4人が特別会員
令和４年度以降の事業計画立案、事業費積算（コーディネート業務）			主									B	